



糸東会

2024.1.1 No.283

令和6年1月1日発行(季刊)年3回発行
定価500円(本体455円)

新年の挨拶



宗家
摩文仁 賢雄
Soke
Kenyu Mabuni

二〇二四年の新年を迎えるにあたり挨拶申し上げます。
ここ二、三年のコロナ禍もどうか一段落しつつあり、昨年
はどうにか従来通りの生活に戻りつつある年になりました。
全国各地で色々な大会・行事が再開され皆さん待ち焦がれ
ていた方も多かったと思います。

そのような中で昨年九月、度々延期されていた糸東流の世
界大会がインドネシアのジャカルタで開催することができま
した。久しぶりに世界の糸東流の愛好家達と交流が叶い再開
の喜びを分かち合うことができました。大会そのものもイン
ドネシアのイワン会長初めインドネシアの皆様の周到な準備
と大会運営で楽しいひと時を持つことができました。大会と
いえば勝敗に拘りがちですが、参加された選手の皆さんは試
合そのものも楽しんでおられて、見ている方も空手ができる
喜びを享受できました。次の開催は三年後に東京での開催と
なりますが、インドネシアでの大会に負けないよう今から準
備が必要かと思いました。

各国のレベル差も年々縮まっており空手発祥の地というこ
とで慢心することなく精進することが必要とも感じました。
例年申し上げますが、選手諸君は大舞台をめざし目の

New Year's Greetings from Soke Kenyu Mabuni

I would like to extend my heartfelt greetings as we embark on the year 2024.
The Covid-19 pandemic in the past couple of years has subsided, and last year we found ourselves somehow began to return to our normal life.
I am sure that many of you were anxiously awaiting the resumption of meets and events in each geographical area.
In this context, we were able to organize the Shitoryu Karatedo International Championships in Jakarta, Indonesia, last September after being postponed many times. For the first time in a while, we were able to exchange with Shitoryu enthusiasts from all over the world and share the joy of the resurgence of the event. The Championships served as a fantastic occasion, thanks to the deliberate preparation and operation of the event by the Indonesian colleagues led by President Iwan. We tend to focus on winning or losing in karate matches, but I saw the competitors just enjoying their matches, and the joy of playing karate was shared by the spectators as well. Looking ahead to the next Championships slated in Tokyo in three years, I thought that we need to commence our preparation immediately to make it as successful as the event in Indonesia.
The technical levels of countries are getting closer year by year, and it made me feel that we Japanese should train ourselves and practice harder, without being overconfident as the birthplace of karate.
Please keep in mind that I expect competitors to put their hearts and souls into their day-to-day practice and matches aiming for a grand stage, and instructors to do their utmost to foster a competitive spirit, and at the same time, a person with good manners. A variety of events are coming up this year, and I will continue to focus on the promotion of Shitoryu Karatedo, hand in hand with all the members of Shito-kai.
I wish you all good health and happiness in this new year.

前の稽古・試合を大事にし、指導者は勝負だけでなく礼節を
わきまえた一人の人間を一生懸命育てることも忘れてはいけ
ません。今年も色々行事がありますが、私も糸東流空手道を
糸東会の皆様と共に普及に専念していきたいと思えます。
年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸を祈念しまして、私
の挨拶とさせていただきます。



会長 岩田源三
President
Genzo Iwata

新年の挨拶

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年は皆様のご協力のもと、大阪での第63回全国大会、ジャカルタでは第10回目を迎えた系東流世界大会を始め多くの大会、講習会など様々な行事を成功裏に終えることができました。ここに改めて心より感謝を申し上げます。

本年も系東会の伝統である

New Year's Greeting 2024 from President Iwata Genzo

Let me express the greetings of the season.

Last year, we were able to successfully organize a variety of events, including the 63rd National Championships in Osaka, the 10th edition of Shitoryu Karatedo International Championships in Jakarta, and many other meets and training sessions, thanks to your support and cooperation. I would like to once again extend my sincere gratitude to all of you.

This year, we will continue to make steady efforts in various activities, aiming at passing on precise techniques and sound upbringing of youth through karatedo, which are the tradition of Shitoryu.

Information and updates will be available on our website, which was renewed last year, as well as on YouTube and other channels.

As we enter a new year, I hope that all of our members will continue to pursue their goals, such as Kyu and Dan promotions, qualification acquisition, or further technical mastery.

I wish you a year filled with happiness and good health.

正しい技術の伝承、空手道を通じた青少年の健全育成を目標とした様々な活動を地道に努力を重ねていきたいと思えます。

昨年リニューアルされたホームページ、またチューブの活用などを通して皆様に情報の発信を進めて参ります。

新たな年を迎え会員皆様それぞれ昇級、昇段、資格取得あるいはさらなる技術の習得など目標に向かって進んで行かれることを願っております。

今年一年が皆さまにとって幸多き年でありませう、そして皆さまのご健康を心よりご祈念申し上げます。

おかげ様で35周年
MIURAグループ

「王道を大歩す」

生命保険、損害保険の総合コンサルタント
株式会社 **KMエージェンシー**

代表取締役 三浦捷之
(系東会 常任理事)

■引受損害保険会社	■引受生命保険会社
A I U 海上日動火災	メットライフアリコ
東京海上日動火災	日本生命
損保ジャパン	東海上日動あんしん生命
三井住友海上	大同生命
日興証券	三井住友海上あいおい生命
あいおいニッセイ同和損害	富オックス生命
富士火災海上	NKS J ひまわり生命

埼玉本社 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-318 みづほビル2F
TEL 048-871-5988(代) FAX 048-871-5325
E-mail info@k-em.co.jp

「街」を知っているから **できること。**

お部屋探しは
東武東上線沿線で
圧倒的な管理実績を
誇るリゾンへ
お任せください。

株式会社リゾン

リゾン 検索
https://www.lizon.co.jp
〒351-0021 埼玉県朝霞市西井財2-4-40 リゾン本社ビル
0570-010-211 (代表ナビダイヤル)

アパマンショップ
アパマンショップ加盟店
リゾンのアパマン
リゾンのお店はぜんぶ駅前

令和5年度 師範講習会

日時：令和5年8月26・27日

場所：糸東会本部道場（埼玉県朝霞市）

立会人：摩文仁賢雄宗家

講師：岩田源三／野澤幸洋／大出敏夫

／小野和宏

委員：我妻登／大木利夫／鷺澤高志／

手塚雄一

講師に一級資格審査員の岩田源三先生・野澤幸洋先生・大出敏夫先生・小野和宏先生、立会人に摩文仁賢雄宗家・一級資格審査員の坂梨孝美先生をお迎えし、令和5年度の師範講習会が糸東会本部道場に於いて54名参加の中、行われた。

師範講習会を始めるにあたり岩田講師より練習開始終了の挨拶は各道場で実施しているように座礼での挨拶が望ましいのではとのご提案があり正座での挨拶から開始した。

各講師の先生方の紹介後、岩田講師のご挨拶にて本年度実施された全空連の八段位審査にて大西佳治先生が見事合格されたとの報告がされた。（16ページに関連記事）

初日、前半は小野講師による糸東会形教本第4巻「心波」の指導より開始した。形の継承された歴史などが講義され、形の順番や分解などを丁寧に指導された。

小野講師は、「形の分解だけで終わるのではなく次の技への繋がりなど、

生きた形として各自で研究してください」とまとめられた。

後半は、岩田講師による糸東会形教本第4巻「クルルンファ」の指導が行なわれ、「この形は一般的に試合でも演武される形なので正しい形を習得し、各道場での指導に役立ててください」と語った。分解についても細やかな体の使い方など一挙動、一挙動のつなぎの部分での足運び、手の動きや姿勢など、教本をさらに深める内容の濃い指導が印象的であった。

初日の講習会閉講式では北原理事長より講評をいただき、座礼での挨拶で1日目の講習会を終了した。
2日目は午前9時より開始、大出講師、小野講師による法形組手の講習が行われた。法形組手は段位審査の際、自由組手に代わって約束組手として選択できることになっている。

平安初段、平安二段、平安三段、平安四段、平安五段を攻撃側、受け側と丁寧に指導。特に間合いが重要であり、形の動きを忠実に立ち方、姿勢、目付、轉身、受け技、攻撃技を演武することが肝要であることが指導された。また、繰り返し練習を行い、正確に伝承することが求められた。

後半は、野澤講師による糸東会形教本第4巻の復習「ワンシュー」「アーナンコウ」の指導が行なわれた。



一挙動ごとに号令をかけ、形の動作だけではなく、大人数を指導する上で爪先の方向など細部にこだわった指導の注意点を示し、練習生の間違いを見逃さないように指導することの重要性が教授された。

閉講式において大出講師から、「今回の講習会の受講者は全て糸東会の師範であり次の世代を担う先生方です。糸東会の正確な形を伝承してください」との言葉をいただいた。

各講師の先生方の真剣な思いが伝わった。

全日本空手道連盟 糸東会 指定道衣



空手道衣
空手用品

空手衣の 尚 武

— 胸マーク、個人名のネーム加工等、敏速に対応致します。 —



空手衣の 尚 武
〒405-0018 山梨県山梨市上神内川996-2
TEL 0553-23-5320 FAX 0553-23-5340

※A I・A IIの上下別売りは、6：5となります
※S I・S IIは上下セット（別売はありません）

令和5年度 第8回レベルアップ講座（九州会場）

日時：令和5年9月17日

場所：福岡自治研修センター（大野城市）

講師：坂本清・小野和宏

委員：坂本龍也・南聡朗・高橋秀和

約2か月ぶりの九州会場のレベルアップ講座が、27名という多数の受講者のもと開催された。

閉講式において、常任相談役青木壽男先生より、「資格審査員の先生方をお迎えし、大変貴重な稽古の機会となるため、積極的な姿勢を心掛けてください」と叱咤激励をいただいた。

午前の部・前半は、目標資格ごとに4グループに分かれ、段位審査（3〜6段）に向けたA・Bグループの指導は坂本委員、南委員が担当した。師範等資格審査のCグループは小野講師が、8段と称号審査のDグループは、坂本講師が担当した。

後半はグループごとの担当を変更し、A・Bグループは坂本、南両委員が入れ替わり、C・Dグループは坂本、小野両講師が入れ替わり担当した。

午後の部・前半は、3グループ編成とし、Aグループは小野講師、Bグループは坂本講師と南委員、Cグループは坂本委員が担当した。後半は午前中同様にグループごとの担当を変更した。

10月から順次始まる師範等資格審

査、11月の高段位・称号審査まで残りわずかであり、受講者は、講師からの指導に対しては熱心にメモを取り、何度も繰り返し技を披露するなど、最後の追いこみの気持ちを随所に見せた。

閉講式の講評において小野和宏講師は、「各自の目標は様々ですが、レベルアップ講座という貴重な場で受けたアドバイスを生かすも殺すも自分次第です。目標達成までの日々をどう過ごすかが大切です。もう一度習ったことをきちんと見直してください」と締め括られた。



開会式にて。左から小野講師、青木先生、坂本講師。



KATA DVD

糸東流形集

糸空全

価格:各6,000円(税込)

初心者の方にもオススメ!

このDVDは、糸東流空手の形を学ぶために、それぞれの形を正面、横、上そして各挙動の解説、分解組手、注意すべき点、間違いやすい点等、全てをわかりやすく公開しています。

<p>糸東流空手形全集 第一巻</p> <p>収録内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平安初段 ●平安二段 ●平安三段 ●平安四段 ●平安五段 <p>商品番号:DCMP-B11 収録時間:カラー45分</p>	<p>糸東流空手形全集 第二巻</p> <p>収録内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ナイファンチ ●バックライタイ ●セイエンテン <p>商品番号:DCMP-B12 収録時間:カラー43分</p>	<p>糸東流空手形全集 第三巻</p> <p>収録内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公相若大 ●公相若小 ●四方公相若 ●積東 <p>商品番号:DCMP-B13 収録時間:カラー55分</p>	<p>糸東流空手形全集 第四巻</p> <p>収録内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●三戦 ●転掌 ●十八 ●仕組 ●二十八歩 <p>商品番号:DCMP-B14 収録時間:カラー60分</p>
<p>糸東流空手形全集 第五巻</p> <p>収録内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ジツテ ●感恩 ●五十四歩 <p>商品番号:DCMP-B15 収録時間:カラー55分</p>	<p>糸東流空手形全集 第六巻</p> <p>収録内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●十六 ●松村凱鷹 ●十三 ●シノーデン <p>商品番号:DCMP-B16 収録時間:カラー55分</p>	<p>糸東流空手形全集 第七巻</p> <p>収録内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スーパーリンバイ ●松風 ●慈尤 <p>商品番号:DCMP-B17 収録時間:カラー55分</p>	<p>糸東流空手形全集 第八巻</p> <p>収録内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クルルンファ ●サイファ ●心波 <p>商品番号:DCMP-B18 収録時間:カラー55分</p>

商品のお問合せ・ご注文はこちらまで 受付時間 AM9:30 ~ PM18:30 定休日 日曜日、祝日 (株)チャンプ 営業部 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-3 総和第二ビル2階
TEL: **03-3315-3190** FAX: **03-3312-8207** <http://www.champ-shop.com/>

令和5年度 準師範・助教講習会及び師範等資格取得審査会

【関東地区会場】

日時：令和5年10月7・8日

会場：糸東会本部道場（埼玉県朝霞市）

立会人：摩文仁賢雄宗家

講師：岩田源三／野澤幸洋／大出敏夫

／山岡硯太郎／坂梨孝美／原口

高司／猪越孝治

委員：木村治伸／我妻登／大木利夫／

鷲澤高志／手塚雄一

講師に一級資格審査員の岩田源三先生・野澤幸洋先生・大出敏夫先生・山岡硯太郎先生、坂梨孝美先生・原口高司先生・猪越孝治先生、立会人に摩文仁賢雄宗家をお迎えし、令和5年度の師範等講習会が糸東会本部道場において36名参加の中行われた。

師範等講習会を始めるにあたり座礼での挨拶から摩文仁宗家、岩田講師より開講のご挨拶をいただいた。

講習会の冒頭、岩田講師より座礼の礼法、正座の仕方、目付等をご指導いただき、空手着のたたみ方など受講者全員で確認した。

新規受審者は、助教と準師範のグループと師範受審の2グループに分かれ岩田講師、野澤講師、大出講師の指導により審査さながらの緊張感のある前日練習となった。

更新の受講者は初日、原口講師より

バツサイ大を、坂梨講師よりセイエンチンを形の順番や分解など丁寧に指導された。さらに、山岡講師、猪越講師の担当のもと、法形組手を攻撃側、受け側と丁寧に指導された。特に間合いが重要であり、形の動きを忠実に実践して、立ち方・姿勢・目付・轉身、受け技・攻撃技を演武することが肝要であり、繰り返し練習を行い伝承することを指導された。

2日目は午前9時より開始、新規受審者は初日同様のグループに別れ、審査直前の練習を行なった。更新の受講者は松村ローハイを原口講師、二十八歩を坂梨講師より初日同様に丁寧に指導を受け、午前中で講習会を終了した。閉講式において岩田講師は、「今回の講習会の受講者は糸東会の次の世代を担う先生方であり、糸東会の正確な形や技法を伝承してください」と述べた。

各講師の方々の真剣な思いが伝わる師範等講習会となった。また、師範等資格取得審査会は日頃の指導力が十分に見て取れる実力の高さを感じさせる審査会であった。若干、緊張のあまり言葉に詰まる場面を見せる受講者もいたが、すぐに平常心を取り戻し、実力を発揮しておられた。



全日本空手道連盟
糸東会公認



MADE IN JAPANのプライド

WAZA

NEWWAVE3

和技

NW3

最軽量組手衣

世界最高峰の形衣

守礼堂 本社

住所：〒900-0012
沖縄県那覇市泊 1-7-2
TEL: (098)-861-5621 / ☎ 0120-612341
FAX: (098)-861-5525 / ☎ 0120-612342
E-mail: shureido@orange.ocn.ne.jp

守礼堂 東京

住所：〒164-0001
東京都中野区中野 2-23-4 グリーンフォレスト1階
TEL: (03)-5342-3051 / ☎ 0120-957-941
FAX: (03)-5342-3052 / ☎ 0120-957-942
E-mail: shureido@viola.ocn.ne.jp

守礼堂 関西

住所：〒538-0044
大阪府大阪市鶴見区放出東 3-21-34
TEL: (06)-6963-8864
FAX: (06)-6963-8863

守礼堂 九州

〒890-0046
鹿児島県鹿児島市西田 2-1-18
TEL / FAX: (099)801-8920
E-mail: shureido@sur.bbq.jp

令和5年度 準師範・助教講習会及び師範等資格取得審査会

【関西地区会場】

日時：令和5年10月14・15日
会場：神戸ニチイ学館（神戸市）

立会人：摩文仁賢雄宗家

講師：岩田源三／野澤幸洋／坂本清／

山岡硯太郎／小野和宏

参加者：更新57名、欠席届4名、新規

受審者14名

令和5年度、関西会場の準師範・助教講習会及び師範等資格取得審査会が、資格更新者・新規受審者計71名の参加により、10月14・15日の2日間にわたり神戸ニチイ学館で開催された。

講師には、岩田源三先生、野澤幸洋先生、坂本清先生、山岡硯太郎先生、小野和宏先生を迎えた。

開講式において岩田講師は、それぞれの道場における日ごろの指導に対する感謝を述べられた後、「この2日間、糸東流の正しい技術をしっかりと習得し、引き続き後進の指導に活かしてください」と語った。

講習会は、新規受審者と資格更新者に分かれて行われ、新規受審者のグループでは坂本講師が、受審の際の留意点を具体的に挙げ、「指導の中では、全体を見渡すこと、また技の名前や用法を正しく表して、指導を受ける者に明確に伝えることが肝要です」と指導した。

資格更新者のグループでは、山岡講師、小野講師、原副委員長による、法形組手と指定形の指導が行われた。対

人形式による分解組手を中心とした講習内容により、間合いの考え方や、相手との体格差を考慮した技の理解を深めることができた。

審査会の冒頭では、野澤講師が、「指導者資格とは指導力を評価するものであり、独特な考え方に偏ることなく糸東流の形・心を伝えてください」と述べ、審査会に臨む心組みを示し、厳粛な雰囲気の中で受審者は自身の実力を十分に発揮した。



細部にわたり指導する岩田講師。

【九州地区会場】

日時：令和5年10月21・22日

会場：福岡自治研修センター（大野城市）

講師：岩田源三／野澤幸洋／小野和宏

参加者：更新11名、欠席届1名、新規

受審者7名

講師に、岩田源三先生、野澤幸洋先生、小野和宏先生を迎え実施した。開講式において岩田講師は、「指導者としての技術向上を目的とする場であり、疑問点はしっかりと質問して正しい技術を習得してください」と述べた。

講習会は、新規受審者と資格更新者に分かれ、新規受審者のグループでは模擬試験形式で指導が行われた。その中で岩田講師から、「教本が伝えている正しい内容を指導することはもちろんだが、順番のみに縛られないよう、その動作を行う上でのポイントを伝えることができればならない」と指



小野講師（右）の指導。

全日本空手道連盟 糸東会指定メーカー

株式会社 **東京堂インターナショナル**

<http://www.tokyodo-in.co.jp>

東京堂 空手 検索

(カタログ無料発送中) >

NEW Items

アットZERO

AT-0

価格例：4号 ¥17,430

AT-1を超えたニュータイプの空手衣
更なる軽量化を実現！

まだまだ進化し続ける
東京堂インターナショナルの空手衣

その他グッズも
ネットショップで
好評発売中！

空手衣の
特東京堂
インターナショナル
Shoppingサイト

☎ **0120-35-2997** 九州支社 〒890-0016 鹿児島県鹿児島市新照院町1-2

〒111-0052 東京都台東区柳橋1-10-9 TEL:099-255-8471 FAX:099-255-1547

TEL:03-3866-2997 FAX:03-3864-9645 ☎ **0120-219-170** (九州支社フリーダイヤル)

✉ info@tokyodo-in.co.jp ☎ kyusyu@tokyodo-in.co.jp

※株式会社東京堂インターナショナルは平成19年4月に株式会社東京堂インターナショナルへと社名変更させて頂きました



全日本空手道連盟
糸東会
SHITOKAI



JAPAN KARATE-00
東京堂の空手道

**糸東会ラベル
お付けします！**

令和5年度資格取得者
称号・師範等・高段位審査

七段位
合格者
2名



まつぎき・まさたか
松崎正隆



ひの・ひろや
日野裕也



かめい・かずひろ
亀井一浩



ふじもと・てるお
藤本輝夫



さきざわ・たかし
鷺澤高志

範士
合格者
1名



いのうえ・しゅう
井上修



はら・ちえり
原ちえり



たどころ・ひろし
田所大



ささき・だいすけ
佐々木大介



はらだ・あきろう
原田昭郎

師範
合格者
9名



あがつま・のぼる
我妻登



おじま・みさえ
小嶋美佐枝



まの・こう
真野剛



たけたに・まさはる
竹谷匡玄



たかはし・ひでかず
高橋秀和



おの・ひであき
小野秀明



ながぬま・いくや
永沼伊久也

教士
合格者
1名

六段位
合格者
3名



いわまる・しんや
岩丸真也



やました・とも
山下知



にのみや・たいすけ
二宮泰佑



こうや・とおる
神屋透



はやかわ・ともひで
早川知秀



しらいいし・さだみ
白石禎美



たかい・まさより
高井正頼



えぐち・まなぶ
江口学



いわい・つかさ
岩井司

準師範
合格者
7名



ぼば・ちとみ
馬場千宝

錬士
合格者
3名



おの・ひであき
小野秀明

八段位
合格者
1名



つるだ・ゆたか
鶴田豊

助教
合格者
12名



あおうだ・ゆたか
粟生田豊



まえの・みつとし
前埜光利



やまの・ともひろ
山野友宏



ひじおか・かつき
肱岡勝喜



ひかわ・こうじ
樋川光司



よしだ・なおこ
吉田尚子



おおいし・ともえ
大石朋枝



てづか・ゆういち
手塚雄一



いど・やすよし
井戸康善



えびさわ・つよし
海老澤毅

関東地区協議会審判講習会 第1回・8月12日 / 第2回12月2日

令和5年の第1回関東地区協議会審判講習会を8月12日、埼玉栄高等学校柔道場で、講師に、長谷川克英・彼ノ矢健一・橋本淳の3氏を迎えて開催した。前半は今年度国体から採用される新ルール¹の解説、後半は全国大会に向けて組手審判技術のレベルアップを目指しての実技講習を行った。

午後の組手実技講習では、県内の強豪校である埼玉栄中学・高校空手道部員の協力を頂き、とても有意義な実技が学べた。

12月2日には第2回の審判講習会を同じく埼玉栄高等学校空手道場で前回の3講師を迎え開催した。

開講式の後、長谷川講師より形・組手競技のルール、主に組手競技について事例を交え、詳しく説明され、主審・副審・監査の役割とウォーニング・ペナルティーの与え方・考え方やジェスチャーについても深く理解することができた。また、5人制と3人制の審判による組手競技についても事例を交え違いについても詳しく説明された。その後、A・B班に分



第1回開催の集合写真。



第2回実技講習の様子。



第2回開講式の様子。

かれて5人制審判による実践を1試合交代で順番に行った。A班を橋本講師、B班を彼ノ矢講師が受け持ち、実戦の試合の中で各々の先生方が情報を共有することににより審判員としてのレベルアップが図れた。

閉講式では、橋本講師は「試合をコントロールするのは、審判なので、今まで以上に落ち着いて行ってください。彼ノ矢講師は「講習会を重ねるたびにレベルアップが図れていることに大変嬉しく思います」と、それぞれ語られた。

道場紹介

清澄館・せいちょうかん

代表者 藤原直輝

北海道系東会標茶支部 しへちや

スポーツや文化活動をする組織がなかった僻地に、子どもたちがそれらに触れる機会を設けようと、学校のPTA会員でもあった有段者の方が、地元の子どもたちと、保護者の有志の方々を募り、平成4年4月にスポーツ少年団の側面も併せもち発足し、約30年にわたり活動を継続してきました。

人口が約7千人、主要産業が酪農という、穏やかな丘陵農村地帯風景の中に道場として武道館等の公共施設を利用して活動しています。地域や学校との親密な連携を図り、空手を通じて健全な体と人格の育成を理想に掲げ、ウェルビーイング、教育的側面、伝統文化の継承の役割を担うため邁進しています。めまぐるしい時代の移り変わりと共に、活動の在り方や方法を工夫し、試行錯誤を重ねてきました。移行行くものも多くありましたが、地域の宝である子どもたちを大切にしたいという想いは変わらずに在り続けました。

門下初期生だった子どもたちが大人になり、指導者へと成長し、現在はその子どもたちの世代へ伝えようと日々奮闘しています。親から子へ、先輩から後輩へ、伝統文化として地域に根差し、息づいています。

世代の変遷もあり、現在は幼年7名、



小学生20名、高校生2名、一般指導者が6名で活動しています。活動を支援する保護者で組織された父母会があり、指導者と連携を図りながら三位一体となって和をもって取り組んでいます。

夏には練習会とバーベキュー、秋にはサブライスのハロウィンイベント、年末には納会としてゲーム大会やボウリング大会があります。年の初めには、鏡開きとして、もちつき大会と寒稽古を開催しています。1月の外気温は日中でも氷点下4℃にもなり、雪も積もっていますが、指導者や上級者の子どもたちは空手衣1枚に裸足で、寒さを吹き飛ばすように気合いを充実させ、笑顔あり、時には涙もありで頑張っています。

厳格な道場というよりは、元気で明るく快活な雰囲気を持った道場です。そのような中で、各々が元気の発声や体力作り、挨拶をする、場感謝する等の礼節を重んじ、月に1回程度の大会にも積極的に参加し、競技力の向上と自己の研鑽を図っています。



第10回糸東流空手道 インターナショナルチャンピオンシップス

The 10th Shitoryu Karatedo International Championships
2023年9月22～24日 インドネシア・ジャカルタ



大会役員の記念写真。



岩田源三・糸東会会長。



摩文仁賢雄・糸東流宗家。





チルドレンやジュニア、ベテラン世代対象のオープン大会が同時開催された。



会期に合わせて、世界系東流空手道連盟（WSKF）の技術セミナーや会議が開かれた。

たことが報われたとの喜びで涙を拭いた。

コーチも信じられないといえる今回の結果に監督・チーム全体がゾーンに入ったといえる今回の結果に監督・

と俄然全選手の勢いが更に増した。チーム全体

がゾーンに入ったといえる今回の結果に監督・

コーンも信じられないといえる今回の結果に監督・

日本シニア奇跡の全種目制覇

これまでの9回大会まで形競技では男女ともに日本が優勝を続けてきた。さすがに日本勢の形は追従を許さぬものがある。男女個人、男女団体と圧倒的強さで優勝を決めた。その中でも今年の糸東会全国大会で優勝した東佐江子の自信に満ちた演武は他を圧倒した。

形での完全制覇はあり得ることと想像できなかった。なんと組手競技においてもシニア選手は強かった。全種目優勝という快挙を成し遂げ、結果、日本チームのシニアは形・組手全種目優勝という奇跡的な快挙を達成した。

組手に関しては、技術本部がヨーロッパ組手の研究を長く続け、追いつけ追い越せの至上命令がナショナルチームに出されていたが、選手がこれによく応えた。日本チームの優勝が続くと俄然全選手の勢いが更に増した。チーム全体がゾーンに入ったといえる今回の結果に監督・



日本選手団結果

【シニア大会】

- （形）
- ◆男子団体 [優勝] 日本（関根斗夢・佐藤競・片山由冴）
 - ◆女子団体 [優勝] 日本（北口歌桜・清水彩瑚・野々村奈美）
 - ◆男子個人 [優勝] 佐藤優輝
 - ◆女子個人 [優勝] 東佐江子
- （組手）
- ◆男子団体 [優勝] 日本（近藤世浩・芝本航矢・中川愛翔・廣瀬心星・松本龍魁）
 - ◆女子団体 [優勝] 日本（山川未央・黒田愛乃・清高まりん・武田蒼生・砂田依輝）
 - ◆男子個人 -60kg [優勝] 近藤世浩
 - ◆男子個人 -67kg [優勝] 中川愛翔 [準優勝] 芝本航矢
 - ◆男子個人 -75kg [優勝] 廣瀬心星
 - ◆男子個人 -84kg [優勝] 松本龍魁
 - ◆女子個人 -50kg [優勝] 山川未央
 - ◆女子個人 -55kg [優勝] 黒田愛乃
 - ◆女子個人 -61kg [優勝] 清高まりん
 - ◆女子個人 -68kg [優勝] 武田蒼生
 - ◆女子個人 + 68kg [優勝] 砂田依輝

【オープン大会】

- （形）
- ◆男子個人 10～11歳 [優勝] 木戸口晃士 [第3位] 上原壮太 [1回戦] 黒田源十
 - ◆男子個人 12～13歳 [優勝] 福井敢太 [第3位] 梁一惺
 - ◆男子個人 14～15歳 [準優勝] 黒田聖十 [第3位] 新城幸翔 [第5位] 小林洵晴
 - ◆女子個人 14～15歳 [優勝] 神野寿莉
 - ◆女子個人 16～17歳 [優勝] 新城凜聖
- （組手）
- ◆男子個人 10～11歳 -35kg [優勝] 木戸口晃士 [準優勝] 上原壮太
 - ◆男子個人 14～15歳 -52kg [準優勝] 新城幸翔 [第3位] 廣瀬煌斗
 - ◆男子個人 14～15歳 -63kg [準優勝] 黒田聖十
 - ◆男子個人 16～17歳 -61kg [優勝] 入潮都麦
 - ◆女子個人 10～11歳 + 30kg [優勝] 林美璃愛



この大会の内容はこちらから
見ることができます。

■監督 井戸康善

「第10回糸東流世界大会を振り返って」

第10回糸東流空手道インターナショナルチャンピオンシップで空手母国の日本としての心技体を世界に発信する。この大きな目的・目標は2023年選手強化委員会の指針となりました。1月の強化選手選考会では、達成に向けた選考を行いチームがスタートしました。

「ONE TEAM」のスローガンのもと、6月の強化合宿ではチームの方向性や考え方について話し合い、ターゲットとする各種大会への強化に取り組むとともに、世界大会のメンバーを決定しました。8月の強化選手合宿では、世界大会に向けて具体的な対策を行い、チームの結束力が更に高まりました。

迎えた9月19日(火)に成田空港で役員の先生方、審判の先生方、選手、コーチ、保護者やサポートの方々が一堂に会して結団式を行い、インドネシアの首都ジャカルタに入りました。海外試合のため、水や食事、気候や環境整備には細心の注意を払いました。20日(水)には、レジストレーション、会場視察や全体練習を行い活気ある練習で場を支配しました。21日(木)には、形・組手セミナー、WSKF審査会、審判講習会、抽選会・監督会議と様々な行事が実施される中、公式練習では個々の調整方法を活用し、集中モードに入る引き締まった練習になりました。夕食は、日本食レストランに選手・コーチ全員で行き決起会を行いました。

そして、22日(金)から、いよいよ大会が始まりました。海外特有の応援、言葉や進行の問題に対応しながら、男・女団体形を皮切りに、各種目で躍動する日本チームの戦いぶりは会場の注目を集めました。日本チームの強さは、メンバー全員の存在でした。選手・コーチはもちろんのこと、これまで強化に関わってくださった方々や日本にいるコーチ、関係者全員の存在が苦しい場面で競り勝つ力となり金メダルラッシュが続きました。日本チームの優勝が続くと俄然全選手の勢いが更に増していき、チーム全体がゾーンに入ったといえる戦いでした。

結果、シニアでは、出場全種目での金メダル、全員金メダル獲得という歴史的な偉業を達成してくれました。また、ジュニアも金7個、



銀4個、銅4個と多くのメダルを獲得する大躍進を遂げてくれました。そして、閉会式では海外選手との交流を積極的に行い、会話をしながら写真を撮るコミュニケーション力の高さに今後が益々楽しみにになりました。数年後のこの大会でシニア選手として活躍してくれることを確信しました。

日本の強さを発信できたことは、もちろん最高の喜びでしたが、それ以上に嬉しかったのが、日本の「礼節」を世界に広めることができたことです。コートでの立ち居振舞や所作、会場内外でのマナーを含めた姿勢に称賛の声を数多くいただき感動しました。

選手を牽引してくれた芝本航矢主将がこう言っていました。「糸東流開祖である摩文仁賢和先生の教えである『君子の拳』の教えを体現し続けた最高のチームだと胸を張って言えます」。

まさに「ONE TEAM」の素晴らしいチームでした。

摩文仁賢和宗家、岩田源三会長をはじめ、役員の先生方や審判の先生方、今大会に携わってくださった全ての方々感謝申し上げますとともに、今後の世界糸東流空手道連盟の発展のために、更なる成長を目指して選手とともに精進して参りたいと思います。本当にありがとうございました。

■芝本航矢 (シニア男子組手・日本チームキャプテン)

「日本チームキャプテンとして参加して」

「ONE TEAM」これが日本チームのスローガンでした。インドネシアの首都ジャカルタで開催され、約1週間の遠征となった本大会。私はキャプテンという大役をまかされました。

流派の看板として大会に臨むことに、緊張や不安を抱えながら出発の当日を迎えました。現地に着くと、慣れない食事や気温など海外の環境に、私を含め戸惑うメンバーも少なくありませんでした。それに加えて、会場の雰囲気や応援の仕方、マットの硬さなど試合に直接影響する要素で日本との違いも多くありました。

しかし、そんなネガティブ要素を跳ね除けるパワーが日本チームにはありました。それは2つです。1つ目は、みんなで試行錯誤して準備した円陣です。普通の円陣ではありません。みんなが笑顔になれる、とてもユーモア溢れる特別なモノです。この円陣を行うと、一気に士気が高まると同時に、緊張や不安が吹き消えて、自然体で試合に臨むことができます。

2つ目は、日本チームのメンバー全員の存在そのものです。監督・コーチ・選手はもちろんのこと関係者全員の存在が、私にとって、そして何よりチームメンバーにとって、非常に大きかったことは言うまでもありません。言葉を交わさずとも、視線を交わすだけで、自信と勇気が湧き、「絶対勝つ、優勝しよう!」そんな強い気持ちに、何度もさせてくれました。まさに「ONE TEAM」でした。

私たちは突き進み、シニアにおいては、史上初の全種目金メダルを獲得。日本の強さを証明することができました。キャプテンとして、日本チームの1人として念願の優勝に歓喜を分かち合った瞬間は生涯忘れることはないと思います。

そして、優勝以上に嬉しかったことがあります。それは、日本の「礼節」を世界に広めることができたことです。糸東流開祖である摩文仁賢和先生の教えである「君子の拳」。その教えを大会を通して体現し続けた最高のチームだと、胸を張って言えます。この大会にこのチームで出場できたことは本当に幸せでした。私の空手人生の中で、一生の思い出に残る大会になりました。

この大会で得た喜びや成果を、今後の空手道に活かしていきたいと強く思います。

最後に、監督・コーチ・選手のみならずをはじめ、この大会に携わってくださった全ての皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

■東佐江子 (シニア女子形優勝)

まず世界大会の開催にあたり、ご尽力して下さった方々に心から感謝しています。今回、第10回という記念すべき大会で、優勝することができ光栄です。また、史上初のシニア選手全員、全種目で優勝という結果を残せたのも、井戸監督をはじめ糸東会のサポートがあっただけです。

個人的には2019年の前回大会には個人形で出場することができず、悔しい思いをしました。そして糸東会には、シリーズAに出場する時にも手厚いサポートをして下さり、今回の大会では結果で恩返しができるよう、「必ず優勝する」という強い気持ちを持って挑みました。全日本実業団からの連戦で調整が簡単ではありませんでしたが、糸東会の形を世界大会の場で演じ、優勝することができ、ホッとしています。

また、「One team」というテーマのもとで、大会に向けて一緒に練習してきました。強化合宿でも形、組手関係なくコミュニケーションを取り、チームワークを高めてきました。結果として表れたこと、また、このチームの一員として戦えたことが本当に嬉しいです。今大会で間違いなく1番のチームだったと思います。

来年にはシンガポールでアジア大会が行われます。まずは出場を目指し、そこで優勝することが目標の1つです。その他にも、国内外様々な大会で結果を残し、更に糸東会を盛り上げ、沢山のサポートをして下さっている糸東会にこれからも結果で恩返しができるよう、頑張っていきたいと思います。



芝本航矢



東佐江子

日本選手団の報告

■新城凜聖（オープン大会 16～17歳 女子形優勝）

私は2023年9月に行われた糸東会の世界大会に出場しました。初めての海外・初めての海外試合、何もかもが初めてなことばかりでした。日本語が通じない他国の言語、不安と希望が入り混じった不思議な気持ちでした。しかし私は世界大会に出場できるチャンスを与えてくれた両親に感謝しています。私の家系は親子三代の空手一家です。祖父・父・姉弟が空手に携わっています。そんな中今回は、大学受験を控えた姉を除き、私と弟の二人がエントリーしました。

自信はありましたが不安な気持ちが消えず試合形をやり込むしかありませんでした。それは、8月に大阪で開催された「第63回糸東流空手道全日本選手権大会」満を持して挑んだ大会で、まさかの二回戦敗退、全空連競技規定形評価基準の中の「形はダンスではない。格闘技の点から現実的でなければならず、技の集中力、力強さ、存在効果を示す必要性。優雅さ、リズム、バランス以外に力強さ、パワー、スピードも演舞をしなければならない」と、この一心で練習し挑みましたが結果は敗退。周囲からは力の入れすぎだよと言われるどころか良いかかなり悩みました。

そして迎えた、9月23日予選が始まりました。ここで気づいたことそれは他国の選手はいきなり得意形を使うことでした。そこで私は指導員である父の言葉「指定形は日本だけ」私たちは日本のルールで第一ラウンド「第一指定形」第二ラウンド「第二指定形」で用意してしまいました。他国の選手は難易度の高い形、得意形で来ると思うと焦りが込み上げてきました。形の試合中なのに各国の応援の迫力が私をさらに焦らしました。動画でも拍手が起こったりしていたのは見ていましたが、日本の応援とは少し違うように感じました。1回戦・2回戦を一位通過でき2日目に繋げることができました。

2日目のゴールドメダルマッチ決勝戦は姉弟私の三人が得意とする「チャタンヤラ・クーサンクー」を使いました。結果は、かなりの点差で優勝しました。自信はありましたが慣れない他国の地、聞き慣れない応援合戦、父も負けず一人叫んでいました。日本だと注意を受けてしまいそうなくらい声を出してくれました。本当に心強かったです。

優勝が決まりコートに後にした瞬間、緊張の糸が切れ涙が溢れて止まりませんでした。そばでついてくれていた監督、応援してくれた仲間達、父の言葉、応援全てのおかげです。本当に嬉しかったです。

次はシンガーポールで行われるアジア大会に向けて練習に励みたいと思います。

■入潮都吏（オープン大会 16～17歳 男子組手優勝）

この大会は自分にとって初の海外試合で、全てが新鮮な体験となりました。大会で特に印象的だったことは、どの国の選手も皆真剣でありながら楽しそうに練習する姿です。また外国人選手の手足の長さを活かした攻撃は魅力的で大変勉強になりました。そして日本人選手の強さも印象的でした。どの階級でも活躍し、次々にメダルを獲得する日本選手団を、その一員として誇らしく感じました。

私自身は調整時の練習で日本選手団の先輩方に完膚なきまでに打ち負かされ、実力不足を痛感しました。しかし、強い先輩方との練習は楽しく刺激的で、学ぶことの多い貴重な時間となりました。

また、会場で心を動かされたものは「応援」でした。それぞれの国の応援は多彩で、見ていだけで力をもらえるようでした。中でも緊張で体が硬くなりそうな時、日本選手団の応援の音が耳に届くと勇気が溢れ、実力以上の力を発揮することができました。改めて応援が選手を支え、さらには選手の力を引き出すことに気づき、応援の偉大さを感じた大会となりました。自分自身の優勝も先輩方との練習や皆の応援のおかげだと思っています。

さらに試合後に行われた「さよならパーティー」では、様々な国の選手と話す機会を得ました。今回、国籍を問わず空手を愛する仲間と出会い、交流できたことを嬉しく、また有難く思います。このような貴重な経験ができたことに感謝しています。



新城凜聖



入潮都吏

糸東会の世界戦略

現在、糸東会選手強化委員会では、「トップアスリート強化合宿」を開催するなど、世界で活躍できるトップ選手を育成している。

世界空手連盟（WKF）が主催する数々の競技大会に出場するためには、選手が競技技術の向上を図るだけでは無理な状況にある。KARATE 1プレミアリーグ、あるいは世界大会に出場するた



左から
小出コーチ
三村選手
崎中選手
加登選手
新形選手。

◆ WKF ユースリーグベニス大会派遣

場所：イタリア・ベニス
日程：2023年12月4日～11日
（大会日程：24日～26日）
参加選手：カデット男子-63kg：崎中舜矢
カデット女子組手-54kg：加登由芽実
ジュニア男子組手-61kg：三村泰生
ジュニア男子形：新形駿介
帯同コーチ：小出翔太（選手強化委員）

めには、シリーズAなどの大会に出場し、勝利することでランクインすることからスタートしなければならない。

しかし、こうした大会のほとんどが海外各地で行われるため、個人の努力だけでは限界がある。そこで、優秀な選手を埋もれさせず、本会がバックアップすることで、世界で活躍する道筋を作っている。本年第1回のトップアスリート強化合宿で、WKF ユースリーグ・ベニス大会、第2回合宿ではWKF シリーズA・マトジニョシュ大会の派遣選手を選考した。

こうした世界戦略を目標に掲げ、選手強化を図ったことで、今回のWSKFの世界大会で、シニア完全制覇という快挙を実現する原動力となった。

◆ WKF シリーズA マトジニョシュ派遣



場所：ポルトガル・マトジニョシュ
日程：2023年11月22日～28日
（大会日程：24日～26日）
大会場所：ポルトガル マトジニョシュ
参加選手：女子形：北口歌桜
男子形：佐藤優輝／町田康裕
女子組手-50kg：山川未央
帯同コーチ：小野智香子（選手強化委員）



左から山川選手・佐藤選手・町田選手・北口選手。

糸東会選手の活躍

空手1シリーズA アテネ
2023年1月13～15日 ギリシャ

☆女子個人形・第3位
東佐江子(兵庫県) あすま・さえこ

空手1シリーズA パンクーパー
2023年4月14～16日 カナダ

☆男子個人組手60kg・準優勝

近藤世渚(大阪府) こんどう・せな

☆女子個人形・準優勝

大内美里沙(山梨県) おうち・みりさ

☆男子個人形・第5位

佐藤優輝(北海道) さとう・ゆうき

大槻瑛士(兵庫県) おおつき・えいじ

☆女子個人形・第7位

東佐江子(兵庫県) あすま・さえこ

空手1ユニースリーグ ポレチ
2023年6月29日～7月2日 クロアチア

☆カデット男子個人組手63kg・準優勝

崎中舜矢(大阪府) さきなか・しゅんや

第67回全日本学生空手道選手権大会
2023年7月1～2日
姫路市立中央体育館(姫路市)

☆女子形・優勝

大内美里沙(山梨県) おうち・みりさ

第19回アジアシニア空手道選手権大会
2023年7月21～28日 マレーシア

☆女子個人形・準優勝

清水希容(大阪府) しみず・きょう

第50回全国高等学校空手道選手権大会
2023年7月26～29日
恵庭市総合体育館(北海道恵庭市)

☆男子個人形・第3位

中島汰尊(大阪府) なかじま・たいそん

☆小学3年生男子形・第3位
樫新太(奈良県) はし・あらた

☆小学3年生女子形・第7位

島田武(奈良県) しまた・たける

☆小学4年生男子形・優勝

公門稚雲(埼玉県) きみかど・わく

☆小学5年生女子形・第3位

湯田琉美菜(奈良県) ゆた・るみな

☆小学6年生女子形・第3位
長谷川果凛(北海道) はせがわ・かりん

日本スポーツマスターズ2023福井大会
2023年9月2～4日
福井県営体育館(福井県福井市)

☆男子2部形・優勝

千田裕也(北海道) ちだ・ゆうや

☆男子2部形・第3位

長谷川伸一(山梨県) はせがわ・しんいち

☆女子2部形・優勝

長谷川由美(山梨県) はせがわ・ゆみ

☆男子5部組手・第3位

辻俊一(兵庫県) つじ・しゅんいち

空手1プレミアリーグダブリン
2023年9月8～10日 アイルランド

☆男子個人組手・60kg・第5位

近藤世渚(大阪府) こんどう・せな

☆女子個人形・第7位

大内美里沙(山梨県) おうち・みりさ

第3回全日本実業団空手道選手権大会
2023年9月17日
日本武道館(東京都千代田区)

☆女子形・優勝

東佐江子(兵庫県) あすま・さえこ



東佐江子



近藤世渚



大内美里沙



佐藤優輝



大槻瑛二



崎中舜矢



芝本航矢



黒田愛乃



園田雅人



砂田依輝



三土乃空



早川夏帆



湯田琉美菜



長谷川果凛



千田裕也



長谷川伸一



長谷川由美



辻俊一

☆男子団体組手：第3位（神戸第一）
橋本幹太（兵庫県）はしもと・かんた

第31回全国中学生空手道選手権大会

2023年8月3・4日
東京武道館（東京都足立区）

☆女子個人組手：第5位
河野愛華（兵庫県）かわの・あいか
☆男子団体形：第5位（大阪学芸）
桑波田世那（大阪府）くわはた・せな
☆男子団体形：第7位
（兵庫県・姫路市立灘中学校）
津田健太郎 つだ・けんたろう
黒田聖十 くろだ・せいじゅう
谷口鉄慎 たにぐち・てっしん

第2回全日本空手道体重別選手権大会

2023年8月5・6日
東京武道館（東京都足立区）

☆男子個人組手67kg：準優勝
芝本航矢（東京都）しばもと・こうや
☆女子個人組手55kg：準優勝
黒田愛乃（兵庫県）くろだ・よしの
☆男子個人組手84kg：第3位
園田雅人（愛媛県）そのだ・まさと
☆女子個人組手68kg：第3位
砂田依輝（大阪府）すなだ・よりか

第23回全日本少年少女空手道選手権大会

2023年8月7～9日
東京武道館（東京都足立区）

☆小学1年生女子形：準優勝
三土乃空（北海道）みつち・のあ
☆小学1年生女子形：第7位
早川夏帆（三重県）はやかわ・かほ
☆小学2年生女子形：第3位
中村心陽（奈良県）なかむら・こはる
☆小学2年生女子組手：第5位
橋本心希（兵庫県）はしもと・このの
☆小学3年生女子形：優勝
湯田優月羽（奈良県）ゆだ・ゆづは
☆小学3年生女子形：第3位
藤本こころ（兵庫県）ふじもと・こころ

第19回アジア競技大会

2023年10月5～8日 中国

☆女子個人形：優勝
清水希容（大阪府）しみず・きょう

燃ゆる感動がこしま国体 第78回国民体育大会空手道競技

2023年10月8～10日
サンアリーナせんだい（薩摩川内市）

☆女子個人形：準優勝
東佐江子（兵庫県）あずま・さえこ
☆成年男子組手個人戦軽量級：準優勝
芝本航矢（東京都）しばもと・こうや
☆成年男子組手個人戦中量級：第4位
三橋龍斗（徳島県）みつはし・りゅうと
☆少年男子個人形：第3位
中島汰尊（大阪府）なかじま・たいそん

空手1シリーズA マトジニョシユ

2023年11月24～26日 ポルトガル

☆男子形：準優勝
佐藤優輝（北海道）さとう・ゆうき
☆男子形：第3位
町田康裕（埼玉県）まちだ・やすひろ
☆女子組手50kg：第3位
山川未央（埼玉県）やまかわ・みお
☆女子形：第5位
北口歌桜（兵庫県）きたぐち・かお

空手1ユースリーグベニス

2023年12月7～9日 イタリア

☆女子個人組手：54kg：第3位
加登由芽実（大阪府）かとう・ゆめみ
☆男子個人形：第5位
新形駿介（奈良県）にいがた・しゅんすけ

第51回全日本空手道選手権大会

2023年12月9・10日
日本武道館（東京都千代田区）

☆女子個人形：準優勝
東佐江子（兵庫県）あずま・さえこ
☆女子個人形：第3位
大内美里沙（山梨県）おおうち・みりさ



TOPICS

大西佳治氏（兵庫県）長き精進の末に全空連八段位取得

兵庫県糸東会参与で、五誓会尼崎近松支部支部長の、大西佳治氏が、令和5年6月4日、全日本空手道連盟「令和5年度公認八段位審査会」を受審し、見事合格し、八段位を取得した。

和歌山県出身の大西氏は、高校を卒業と同時に兵庫県警に奉職。警察学校を経て交番、交通機動警ら隊（白バイ隊員）として主に阪神地区で勤務。その後、20代後半で結婚を機に警察を退職し義父の会社へ就職。その後、故・國分和夫師範（日本空手道糸東流五誓会）に師事し空手道を学び始めた。

その後、精進を重ね、1988年に六段位合格、それから22年かけて七段位合格、さらに13年かけて今回の八段位の合格に至った。この間、空手道指導を通して青少年の健全な育成を図ると同時に、空手道の普及、発展に尽力された。



1940 (S15) 年 11 月生まれ。高校 3 年次に兵庫県警察官採用試験に合格。警察学校を経て西宮警察署に配属。20 代後半、結婚を機に退職し義父の会社へ就職。その後、糸東流五誓会・國分和夫師範に師事。現在、兵庫県空手道連盟参与。(一社) 全日本空手道連盟糸東会関西地区協議会参与。兵庫県糸東会参与。

佐伯進氏「最優秀審判員」表彰

『第21回アジアアカデット、ジュニア&U21空手道選手権大会』（2023年11月6〜8日）で、本会所属の佐伯進氏が世界168名中、最優秀審判員に選ばれ、メダルセレモニー時に表彰された。大会



前に行われた新規審判試験講習会時には、糸東流の形講師も務めた。

西日本シニア・ジュニア強化練習を実施

11月19日、兵庫工業高等学校で、園山昌枝・神宮隼斗・西辻勝司・小野智香子・原ちえり・山本将孝の指導陣のもと西日本のシニアとジュニア32名が参加し、合同強化合宿を行った。

移動基本においては脱力を意識させて前後移動での突きを行った。始めは動きが硬い選手も見られたが、本数を重ねるうちに脱力と正しい軌道を捉えられてきた選手も増えてきていた。

形は、各々がパート練習を行い確認できれば通して練習するスタイルで全体の流れの中で意識した箇所が修正できているかを確認しながら行った。また、足腰の運動、鼠径部の使い方など技術的にも理解・習得の難しい箇所の解説を行いながら実践した。最初に比べ形に安定感と力強さが加わったように感じた。組手は、脱力した状態での突きの練

習を活かしてミットを使用して中段突きの練習、その後フットワークと間合いを意識させて同じく中段突きに徹した。

残心、打ち終わりの姿勢にも注意をさせ二次、三次攻撃迄意識した一本技、技ありの獲得率向上に向けインパクトを意識し左右同じように蹴れるように中段廻し蹴りを練習した。



午後から早い構え出しと準備を意識して中段突きの差し合い、こちらも左右共に練習。そこからの二次攻撃も追加。多様な上段廻し蹴りの練習。その後フリーで打ち込み、駆け引き、最後は、試合形式で団体戦を行い、チームの一体感を感じて一年を締め括った。

訃報

令和5年9月15日、メキシコ在住の村山邦夫先生が、現地にてご逝去された。享年79歳。

村山邦夫先生は宮城県出身で東洋大学を卒業後、岩田先生宅にて修行され、昭和45年3月31日にメキシコ国に空手道指導者として渡航、53年間の長きに亘り指導され、糸東流空手道の普及発

空手道 糸東会季刊
No.283
令和6年1月1日発行

（発行所）
一般社団法人
全日本空手道連盟糸東会
事務局

〒351-0033
埼玉県朝霞市浜崎3-8-11
TEL: 048 (476) 3818
FAX: 048 (476) 3869

●年会費を3年分一括前納する場合は、合計金額の10%割引となります。

令和6年度の会費納入のお願い 納入締切は6月末です		
会費区分	年会費 / 1年分	年会費 / 3年分 (10%割引) () 内の金額は割引前の金額です。
理事	¥23,000	¥62,100(69,000)
6段以上	¥12,000	¥32,400(36,000)
5段	¥10,000	¥27,000(30,000)
4段	¥8,000	¥21,600(24,000)
3段	¥7,000	¥18,900(21,000)
2段	¥6,000	¥16,200(18,000)
初段	¥5,000	¥13,500(15,000)
一般 (段外者)	¥4,000	¥10,800(12,000)
大学・高校生	¥3,500	¥9,400(10,500)
小・中学生 (幼児含む)	¥2,500	¥6,700(7,500)

会費納入のお願い

ここに生前の先生のご活躍を偲び謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

展に多大なる功績を残されました。
ここに生前の先生のご活躍を偲び謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ありし日の村山邦夫先生。

